

実験説明

ご参加ありがとうございます.

この実験で得られた結果は匿名化された統計データのみを用います.

あなたとわかるデータが許可なく公開されることはありません.

途中で気分が悪くなったり, 実験の趣旨に賛同できない等, どんな理由でも, あなたの意思で実験を途中でやめることができます. 遠慮なくお知らせください.

その場合でも報酬はお渡しします.

最初に植田からの説明があるので指示に従ってください.

実験内容

あなたにはこれから、模擬的なプレゼンテーションを行っていただきます。
ただし、プレゼンテーションの内容(台本)はスライドに書いてある文字を読んでいただくのみです。

このプレゼンテーションは対面ではなくオンラインでのプレゼンテーションを想定しています。あなたはスライド資料を画面共有しながらプレゼンを行う発表者です。聴講者全員のカメラとマイクはオフの状態です。

プレゼン中の画面には模擬聴講者からの反応(リアクション)が表示されます。あなたはこれを見ることで聴講者の状態を把握できます。

実験全体像

実験の順番は以下のような順番です。それぞれ5分程度を予定しているため、1時間以内に終わる予定です。

1. 試行1, アンケート1
2. 試行2, アンケート2
3. 試行3, アンケート3
4. 試行4, アンケート4
5. 簡単なヒアリング
6. 謝金の振り込み用紙への記入

実験で用いられる画面の説明

実験で用いられる画面は2つの要素から構成されます。

- スライド表示部
- 反応可視化部

反応可視化部



スライド表示部

現在のスライドが表示されている部分です。「右矢印キー」「スペースキー」「エンターキー」によってスライドを進めることができます。

「左矢印キー」によって前のスライドに戻ることもできます。

反応可視化部

反応可視化部はあなたの発表を聞いている聴衆の反応を可視化しています

反応には以下のポジティブ・どちらでもない・ネガティブの3種類が存在します

反応可視化部を見ることであなたの発表を聴衆がどのように感じているかを確認できます。



ポジティブ



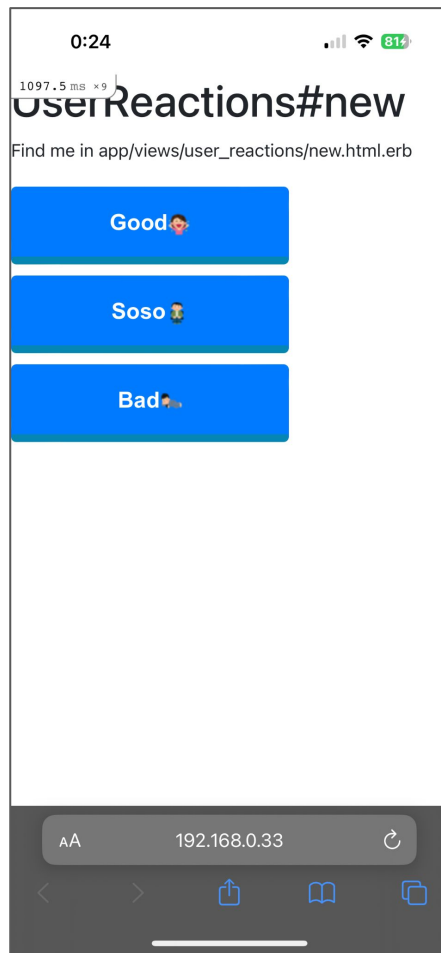
どちらでもない



ネガティブ

聴衆に見えている画面

聴衆には右のようなボタンが表示されており、それぞれのボタンを押下することで、発表者に意思表示をすることができます。



反応可視化部

反応可視化部には2種類の表示方法があります

1. 垂直方向に9個並んでいる

垂直方向に並んでいる時は、直近9個分の聴衆の反応を表示しています。一番下が最新で、一番上が9個前の反応です。一番下が最新の反応です。Youtube等のコメント欄やLINEなどのチャットアプリに近いものだとお考えください。

2. 水平方向に3個並んでいる

水平方向に並んでいるときには、それぞれの画像の大きさがそれぞれの反応の数を表現しています。大きさは直前のスライドでの反応を表現しています。



デモンストレーション

システムのデモンストレーションを行うので実験者の指示にしたがってください

実験内容

あなたはこれから、画面に表示されるスライドを音読していただきます。スライドに書いてある文字全てを読み終えたら、キーボードの、「右向きの矢印キー」、「エンターキー」または「スペースキー」を押下して次のスライドに進んでください。

スライドには太宰治の「走れメロス」の本文が記述されています。試行2, 3, 4は直前の試行からの物語の続きになっています。

1試行は14スライドで構成されており、約5分程度で終了します。各試行終了後にアンケートに回答していただきます。アンケートも数分で終わります。

合計で4試行を行っていただくため、1時間以内には終了する予定です。

実験の説明は以上です。これから実験に入ります。質問はないでしょうか。